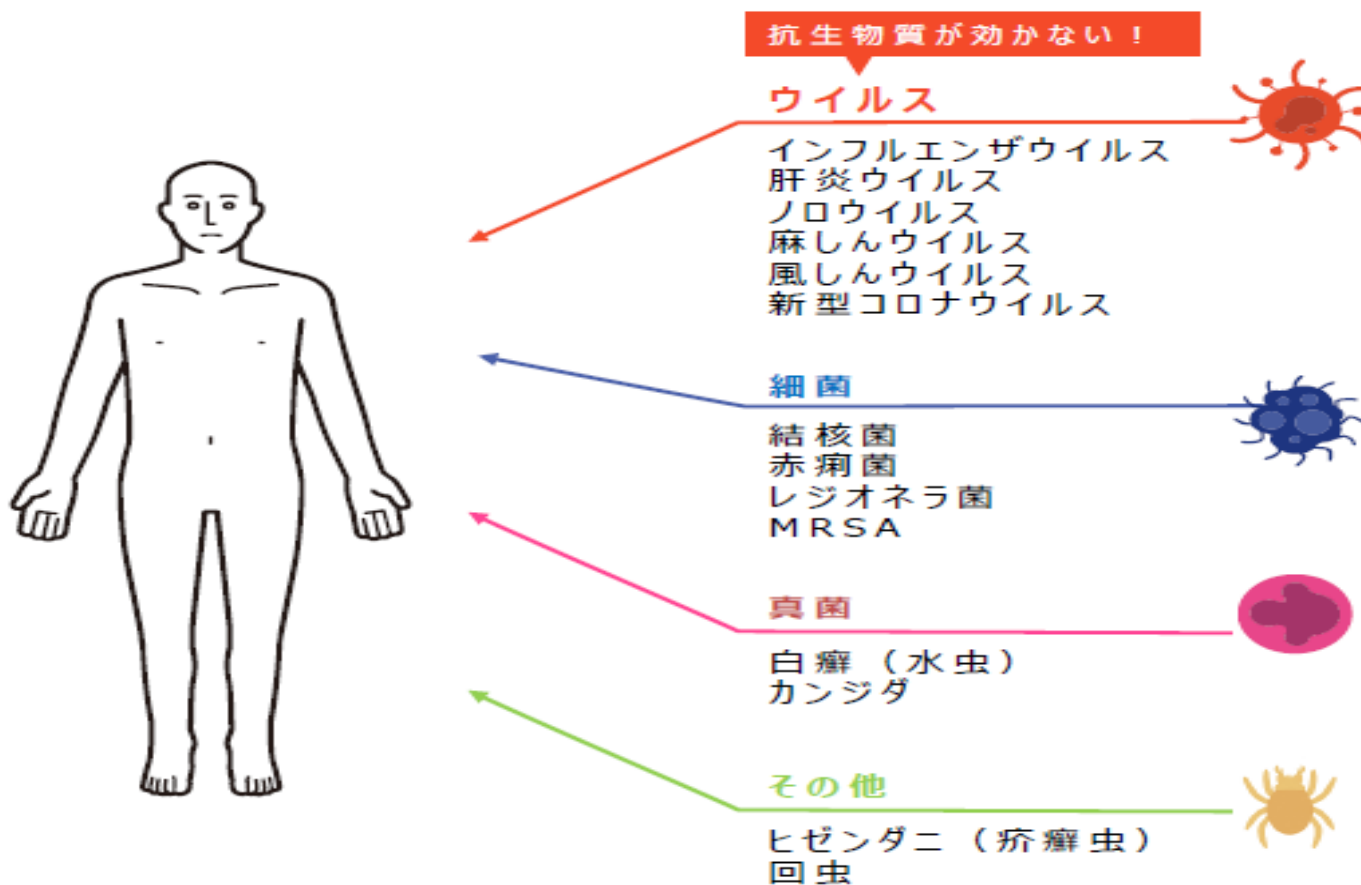


集団発生しやすい 感染症の対策について

可茂保健所 健康増進課 感染症対策係

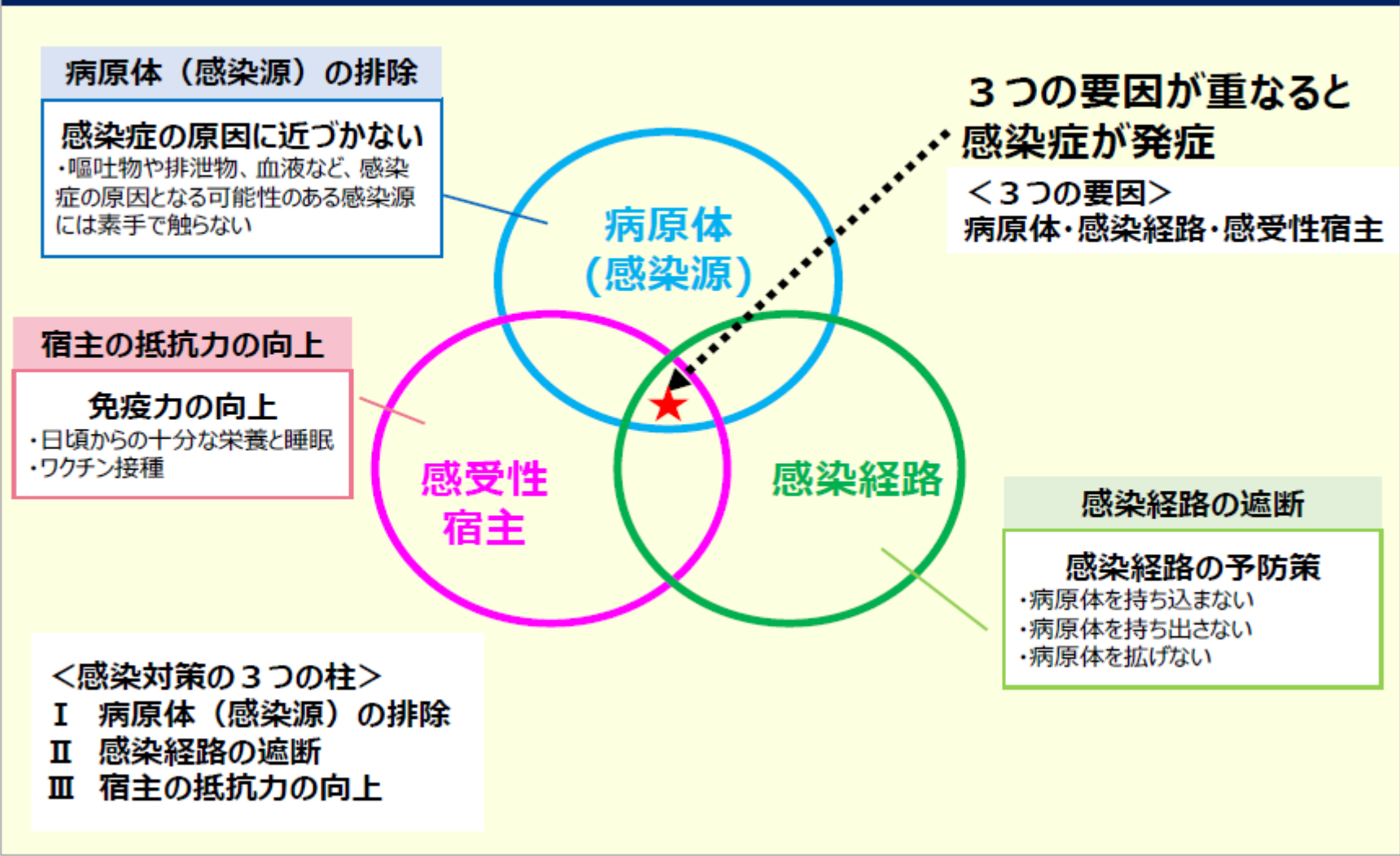
感染症とは

ウイルス、細菌、真菌などの病原体が、ヒトに侵入・増殖してさまざまな症状を引き起こし、その結果として症状が現れること



感染症を防ぐには

感染が成立する3つの要因と感染対策の3つの柱（イメージ）



I 病原体（感染源）の排除

感染症の原因となる可能性のある病原体（感染源）は、次のようなところに存在しています。



1～3は素手で触らず、必ず手袋を着用
手袋を外した後は必ず手指衛生

I 病原体（感染源）の排除

洗浄法

液体石けんを約2-3ml手にとり、よく泡立てながらしっかりもみ洗いする。さらに流水で洗い、ペーパータオルで拭きとる。



擦式（さっしき）法

消毒用エタノールを約3ml手にとり、よく擦り込む、乾かす（液剤・ゲル剤）。



手洗いによる細菌やウイルスの減少効果




	普通の石鹸と流水	速乾性アルコール消毒剤
15秒	1/4~1/13	
30秒	1/60~1/600	1/3,000
1分		1/10,000~1/30,000

アルコールの方が消毒効果は高い。
目に見えるような汚れがあるときは、流水で洗う※。

※ 汚れにより病原体（感染源）が覆われてしまい消毒効果が発揮されないことがあります。

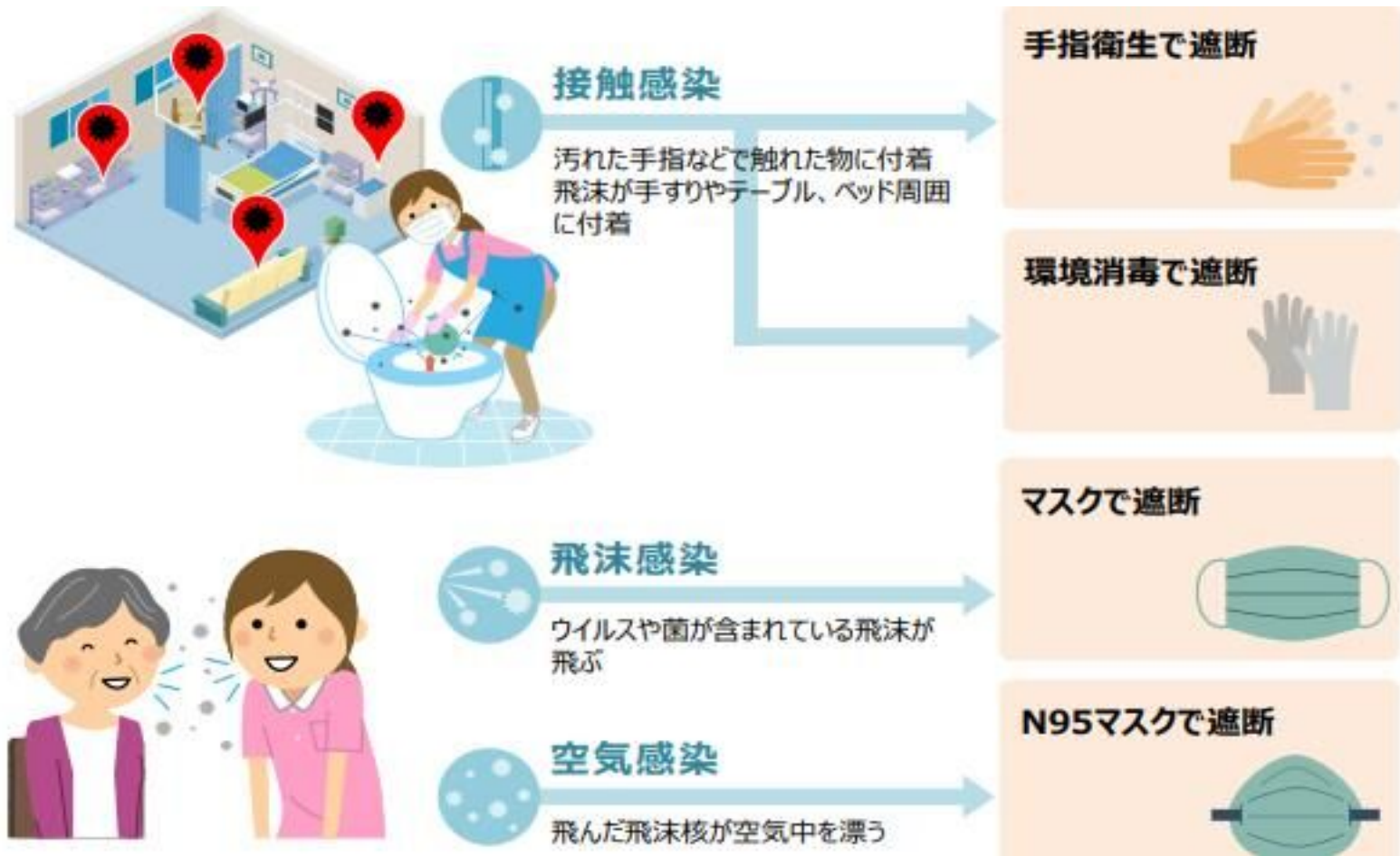
II 感染経路の遮断

感染経路には、① 接触感染、② 飛沫感染、③ 空気感染などがあります。

感染経路	特徴	主な原因微生物
1 接触感染 (経口感染含む) 	手指・食品・機器を介して伝播する。 最も頻度の高い伝播経路である。	ノロウイルス 腸管出血性大腸菌 MRSA、緑膿菌 など
2 飛沫感染 	咳、くしゃみ、会話などで感染する。 飛沫粒子 (5 μ m以上) は1m以内に床に落下し、空中を浮遊し続けることはない。	インフルエンザウイルス ムンプス (おたふくかぜ) ウイルス 風しんウイルス など
3 空気感染 	咳、くしゃみなどで飛沫核 (5 μ m未満) として伝播する。空中に浮遊し、空気の流れにより飛散する。	結核菌 麻しん (はしか) ウイルス 水痘 (みずぼうそう) ウイルス など

上記①～③以外にも、蚊やダニによる節足動物媒介感染や針刺し事故などによる血液媒介感染などもあります。

II 感染経路の遮断



Ⅲ 宿主の抵抗力の向上



利用者の健康管理

感染そのものをなくすこと、ゼロにすることは難しいですが、感染の拡大を防止するためには、早期発見や早期対応が何よりも大切です。

訪室時
面会時

本人もしくは家族への健康状態の確認

活動中
ケア時

反応や表情の日常との違い、身体の様子の確認

入所時

健康診断結果表、既往歴等も確認

入所後

栄養状態／食事摂取状況の確認
定期的な体温脈拍血圧等の測定

随時

健康診断結果、受診結果等の確認

Ⅲ 宿主の抵抗力の向上



あなた自身の健康管理

介護職員は、日々の業務において、利用者と密接に接触する機会が多く、利用者間の病原体の媒介者となるおそれが高いことから、健康管理が重要となります。

入職時

感染症（麻しん、風しん、B型肝炎等）にかかったことがあるか、予防接種の状況、抗体価等について確認を推奨

日常

普段からの健康状態の確認
咳エチケットの徹底（咳・くしゃみ時は口や鼻をマスク・ティッシュ・ハンカチ・袖等でおさえる）
感染症の流行状況に応じてマスクの着用
家族等感染時の管理者等への相談/体温測定/必要に応じた一時的な配置換え等調整

定期的

健康診断の受診

随時

ワクチンによる予防を推奨

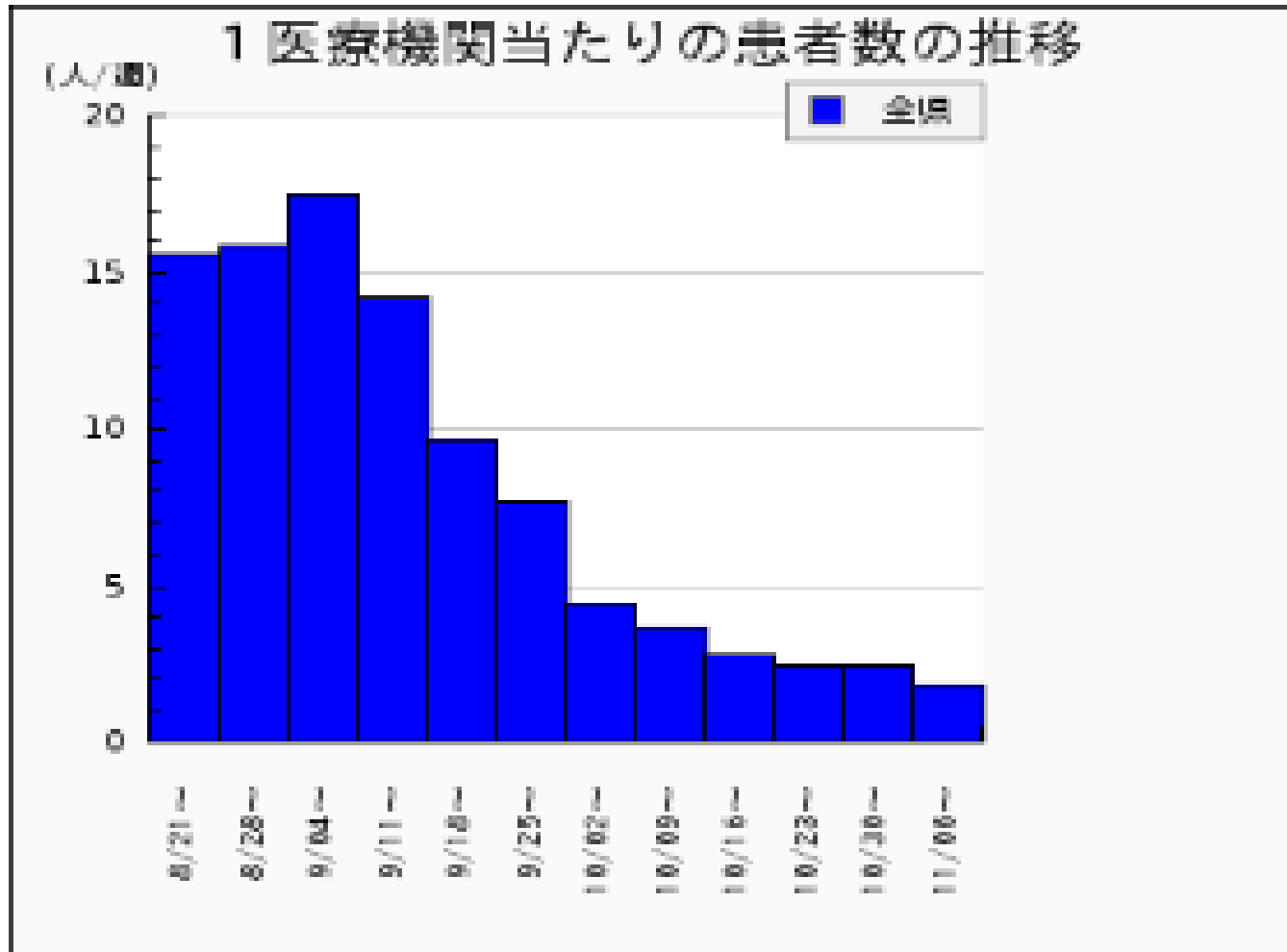
感染症法による分類

一類感染症	7種類	直ちに届出・入院勧告・就業制限 (エボラ出血熱、クリミア/コンゴ熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ熱、ラッサ熱)
二類感染症	7種類	直ちに届出・入院勧告・就業制限 (急性灰白髄炎、 結核 、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群など)
三類感染症	5種類	直ちに届出・就業制限 (コレラ、細菌性赤痢、 腸管出血性大腸菌感染症 、腸チフス、パラチフス)
四類感染症	44種類	直ちに届出 (A型肝炎、狂犬病、つつが虫病、 レジオネラ症 、鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9除く)など)
五類感染症	49種類	直ちに、7日以内に届出又は定点医療機関報告 (破傷風、咽頭結膜熱、水痘、麻疹、風疹、 感染性胃腸炎 、 インフルエンザ 、流行性耳下腺炎、 新型コロナウイルス感染症 、 RSウイルス など)
新型インフルエンザ等感染症	—	新型インフルエンザなど
指定感染症	—	一～三類感染症、新型インフルエンザ等感染症に含まれないが、同等の対応が必要とされる感染症
新感染症	—	新たに確認された感染症で、生命・健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの

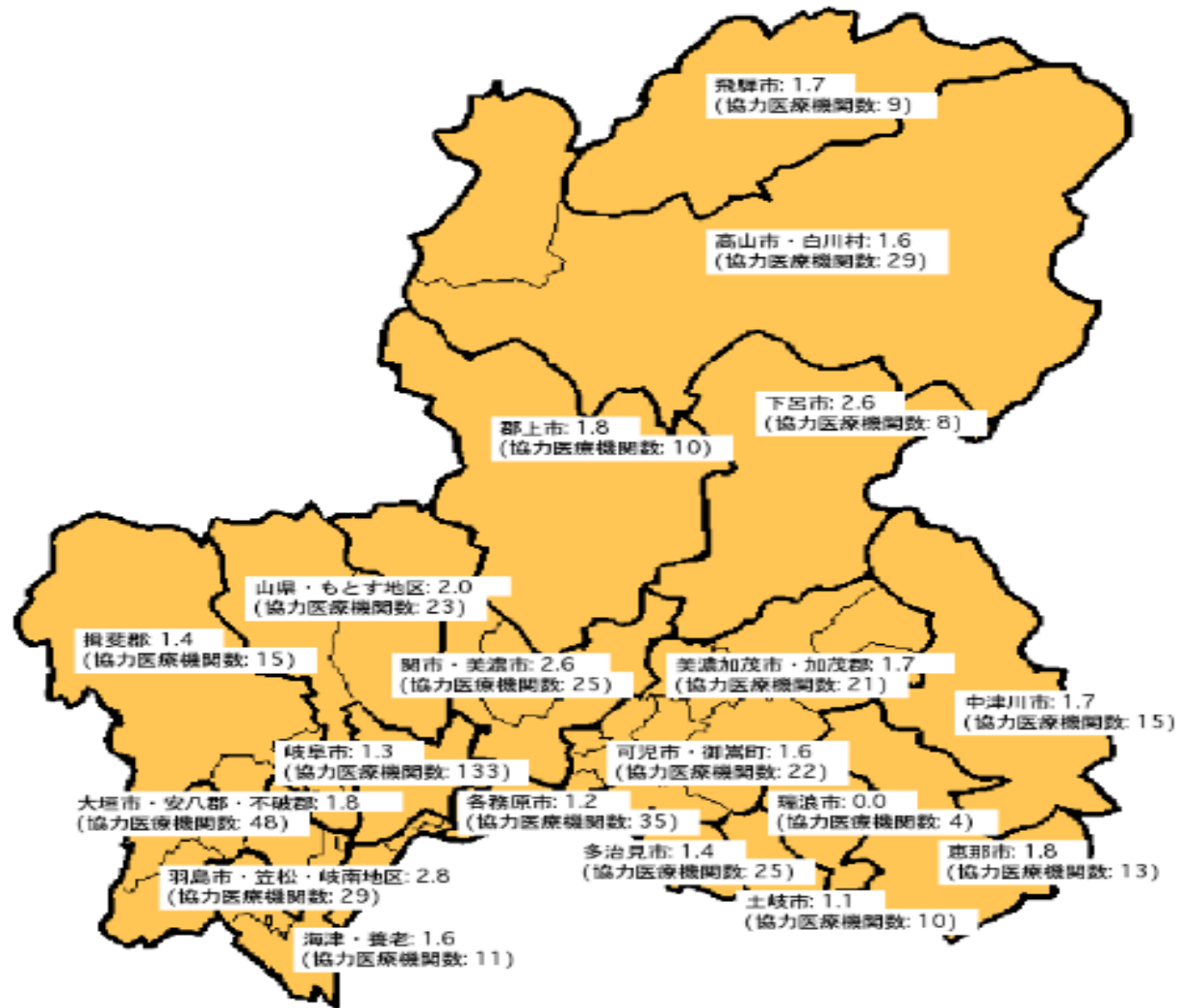
新型コロナウイルス感染症

分類	五類感染症
感染経路	飛沫感染、エアロゾル感染
潜伏期間	2～7日（中央値2～3日）
症状	発熱、呼吸器症状、倦怠感、消化器症状 等
外出を控えることが推奨される期間	発症日を0日目として5日間経過するまで かつ 症状軽快から24時間が経過するまで
予後	発症から1週間程度で治癒することが多い 高齢者では、基礎疾患の憎悪や心不全、誤嚥性肺炎等の発症にも注意が必要
予防法	高齢者など、重症化リスクが高い場合は、ワクチン接種が重症化予防として有効

1 医療機関当たりの患者数の推移



全県・市町村ブロック別流行状況



出典：岐阜県リアルタイム感染症サーベイランス
新型コロナウイルス感染症(covid19)流行状況
(最終更新日：2023年11月13日24時20時点)

平常時の対策

感染予防のために実施すること

- ・ 換気
- ・ 手指衛生（手洗い・手指消毒）
- ・ マスクの着用を含む咳エチケット

ウイルスを減らすために実施すること

- ・ 消毒

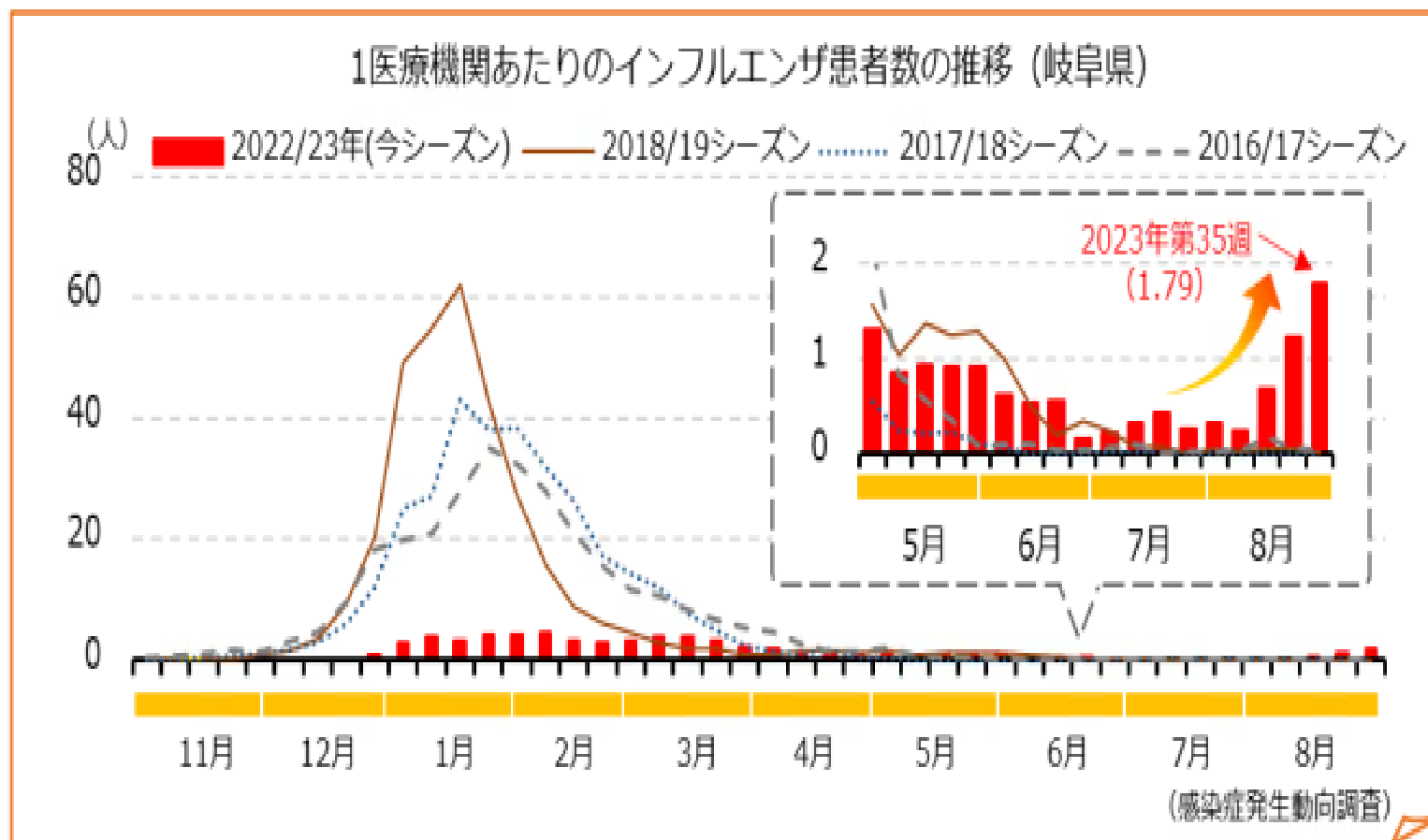
感染者発生時の対応

- ① 管理者や施設内等での情報共有
- ② 利用スペースや共有スペースの消毒
- ③ 利用者及び家族への感染症発生に関する周知、健康観察の徹底
- ④ (必要に応じて) 市町村役場福祉課や県事務所、保健所等関係機関に報告

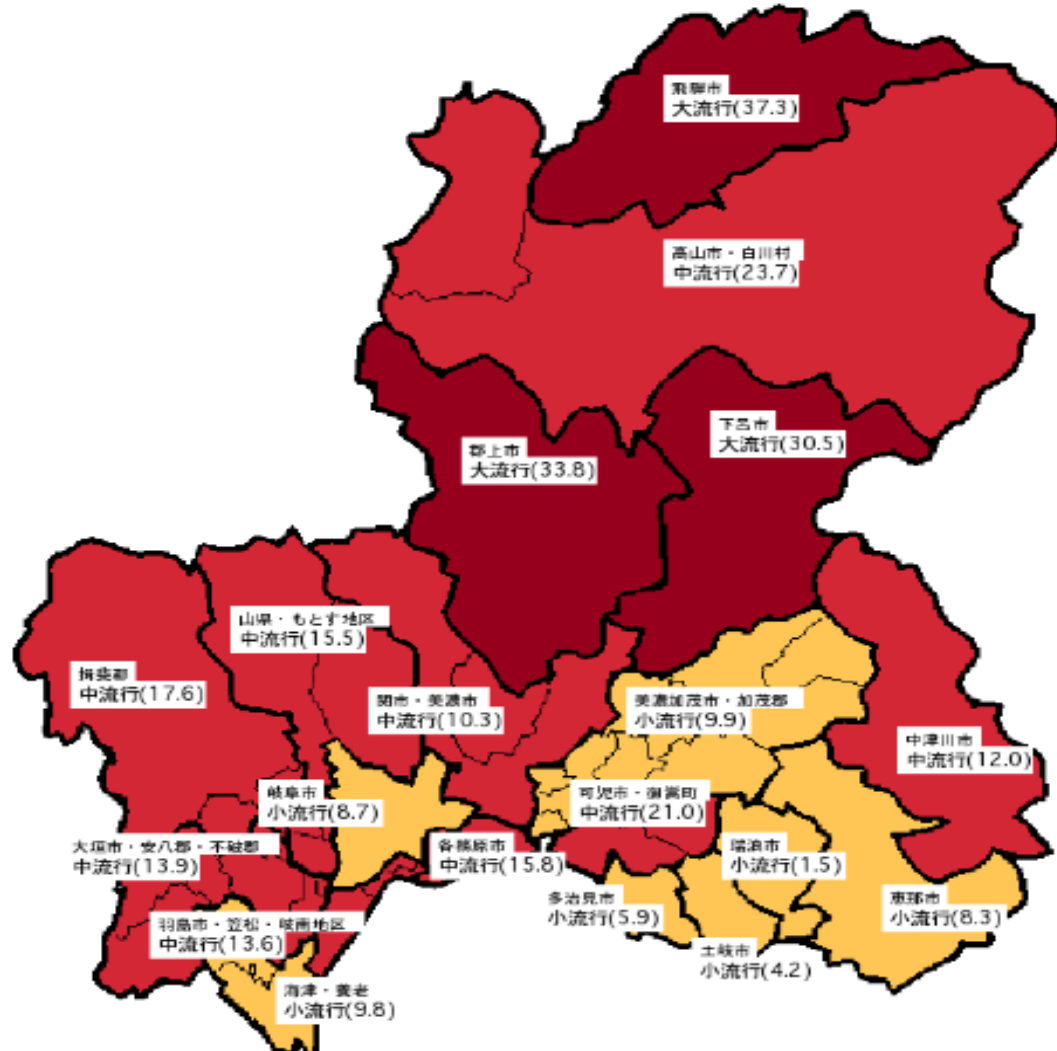
インフルエンザ

分類	五類感染症
感染経路	飛沫感染、接触感染
潜伏期間	1～4日（平均2日）
症状	高熱、呼吸器症状、筋肉痛、頭痛、倦怠感等。肺炎や脳炎など重篤な合併症がみられる場合もある。
その他	罹患率は小児が多いが、死亡率は高齢者に多い。

患者数の推移（近年の傾向）



全県・市町村ブロック別の流行状況



出典：岐阜県リアルタイム感染症サーベイランス
インフルエンザ流行状況（最終更新日：2023年11月13日24時20時点）

感染拡大防止

かからないために

- 外出後は**手洗い**を徹底する
- **栄養**と**睡眠**を十分にとる
- 部屋の中は**適度な湿度**を保つ
- **3密を避け、マスク**を着用する
- **ワクチン接種**



ワクチンは、感染しても症状が出るのを抑えたり、
症状が出ても重くなるのを防ぐ効果があります。



ほかの人にうつさないために

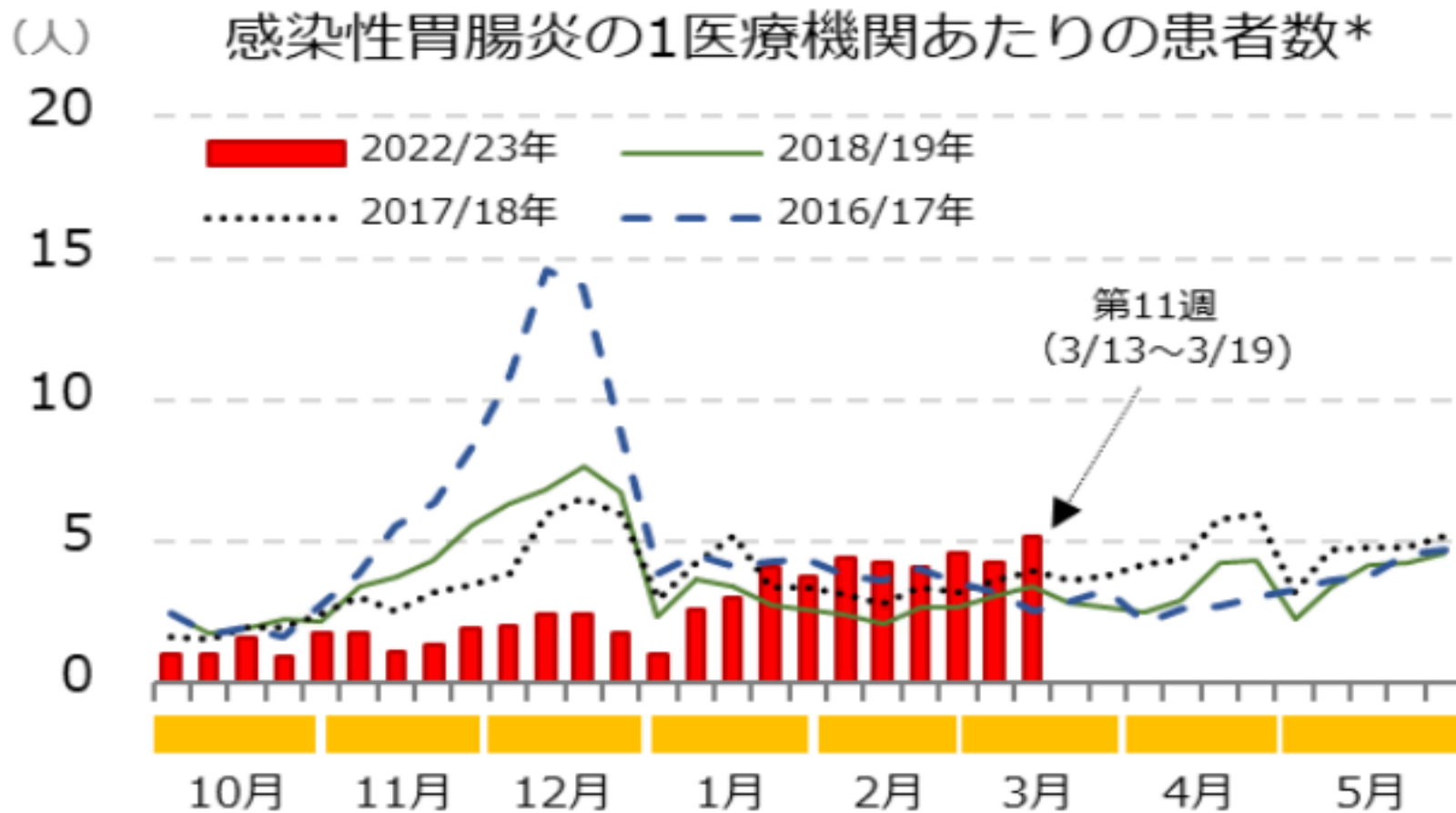
- 熱や咳などの症状がでたら
早めに受診する
- インフルエンザと診断されたら
安静にして休養する
- **マスク**を着用し、
咳エチケットを守る



感染性胃腸炎（主にノロウイルス）

分類	五類感染症（感染性胃腸炎）
感染経路	飛沫感染、接触感染、経口感染
潜伏期間	12～48時間
症状	主症状は嘔吐、下痢
その他	嘔吐、下痢により環境が汚染され、二次感染を招きやすい。 感染力は急性期が最も強く、便中にウイルスが3週間以上排出されることもある。 有効な消毒剤は次亜塩素酸ナトリウム。

患者数の推移（週報）



* 県内53か所の医療機関からの週ごとの報告

感染拡大防止

食器・環境・ リネン類などの

消毒

- 感染者が使ったり、おう吐物が付いたものは、他のものと分けて洗浄・消毒します。
- 食器等は、食後すぐ、厨房に戻す前に塩素消毒液に十分浸し、消毒します。
- カーテン、衣類、ドアノブなども塩素消毒液などで消毒します。
 - 次亜塩素酸ナトリウムは金属腐食性があります。金属部（ドアノブなど）消毒後は十分に薬剤を拭き取りましょう。
- 洗濯するときは、洗剤を入れた水の中で静かにもみ洗いし、十分すすぎます。
 - 85℃で1分間以上の熱水洗濯や、塩素消毒液による消毒が有効です。
 - 高温の乾燥機などを使用すると、殺菌効果は高まります。

おう吐物などの

処理

- 患者のおう吐物やおむつなどは、次のような方法で、すみやかに処理し、二次感染を防止しましょう。ノロウイルスは、乾燥すると空中に漂い、口に入って感染することがあります。
 - 使い捨てのマスクやガウン、手袋などを着用します。
 - ペーパータオル等（市販される凝固剤等を使用することも可能）で静かに拭き取り、塩素消毒後、水拭きをします。
 - 拭き取ったおう吐物や手袋等は、ビニール袋に密閉して廃棄します。その際、できればビニール袋の中で1000ppmの塩素消毒液に浸します。
 - しぶきなどを吸い込まないようにします。
 - 終わったら、ていねいに手を洗います。

塩素消毒の方法

塩素消毒の方法

次亜塩素酸ナトリウムを水で薄めて「塩素消毒液」を作ります。
なお、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤でも
代用できます。

*濃度によって効果が異なりますので、正しく計りましょう。

	食器、カーテンなどの 消毒や拭き取り 200ppm の濃度の塩素消毒液		おう吐物などの 廃棄 (袋の中で廃棄物を浸す) 1000ppm の濃度の塩素消毒液	
	液の量	水の量	液の量	水の量
製品の濃度				
12%	5ml	3L	25ml	3L
6%	10ml	3L	50ml	3L
1%	60ml	3L	300ml	3L



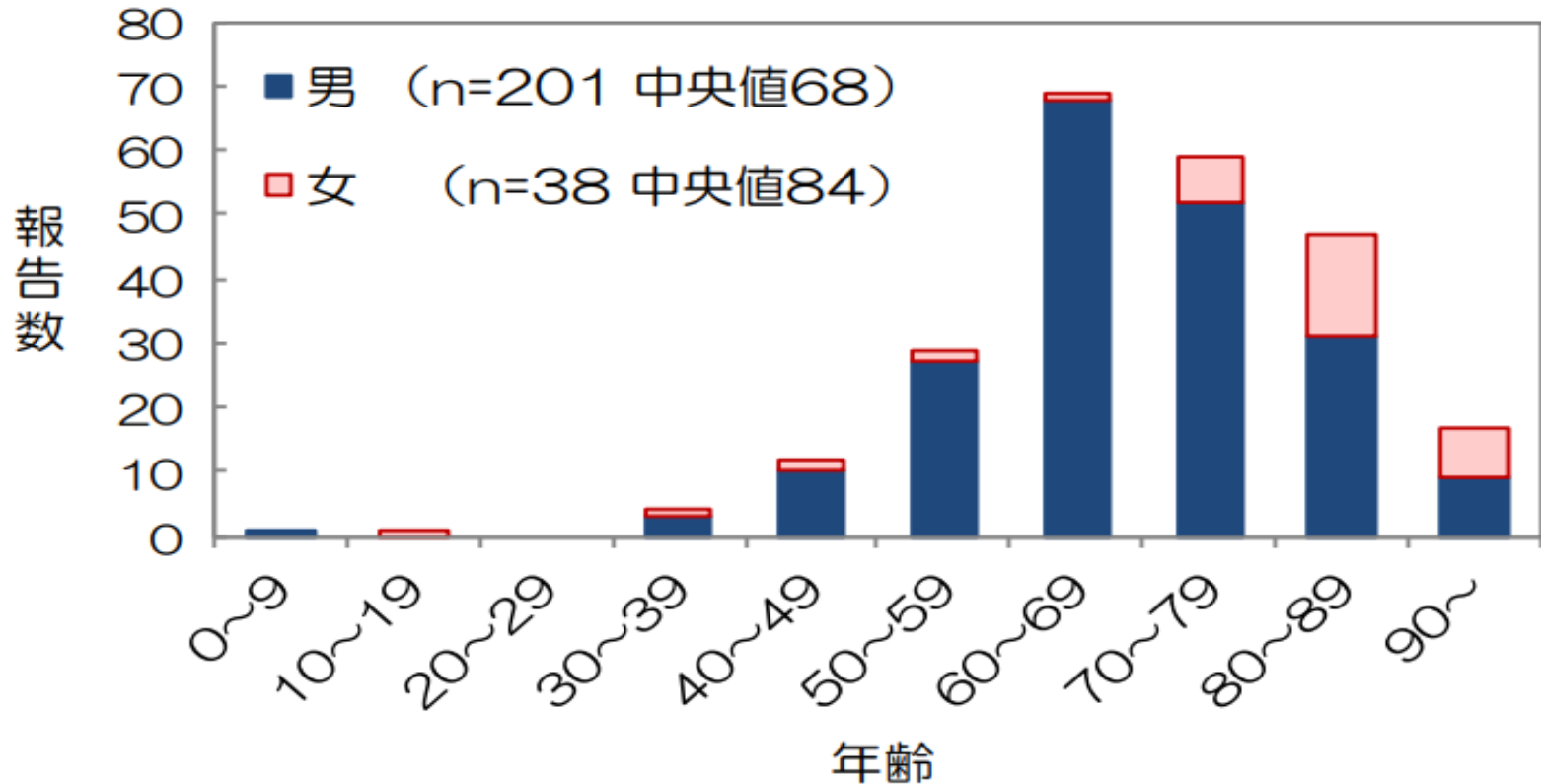
- ▶製品ごとに濃度が変わるので、表示をしっかりと確認しましょう。
- ▶次亜塩素酸ナトリウムは使用期限内のものを使用してください。
- ▶おう吐物などの酸性のものに直接原液をかけると、有毒ガスが発生することがありますので、必ず「使用上の注意」をよく確認してから使用してください。
- ▶消毒液を保管しなければならない場合は、消毒液の入った容器は、誤って飲むことがないように、消毒液であることをはっきりと明記して保管しましょう。

レジオネラ症

分類	四類感染症
感染経路	環境中のエアロゾル、土埃の吸入による 経気道感染
潜伏期間	レジオネラ肺炎：2～10日 ポンティアック熱：1～2日
症状	レジオネラ肺炎：肺炎、全身倦怠感、筋 肉痛、頭痛等 ポンティアック熱：発熱、悪寒、頭痛等

年齢階級別患者数

図3 レジオネラ症患者 性・年齢群別内訳
(岐阜県 2008年第1週～2018年第25週 n=239)



感染予防策

循環式浴槽

- ・ 浴槽水をシャワーや打たせ湯に使用しない。
- ・ 完全に湯を入れ替える場合は毎日清掃する。1か月に1回以上は消毒する。

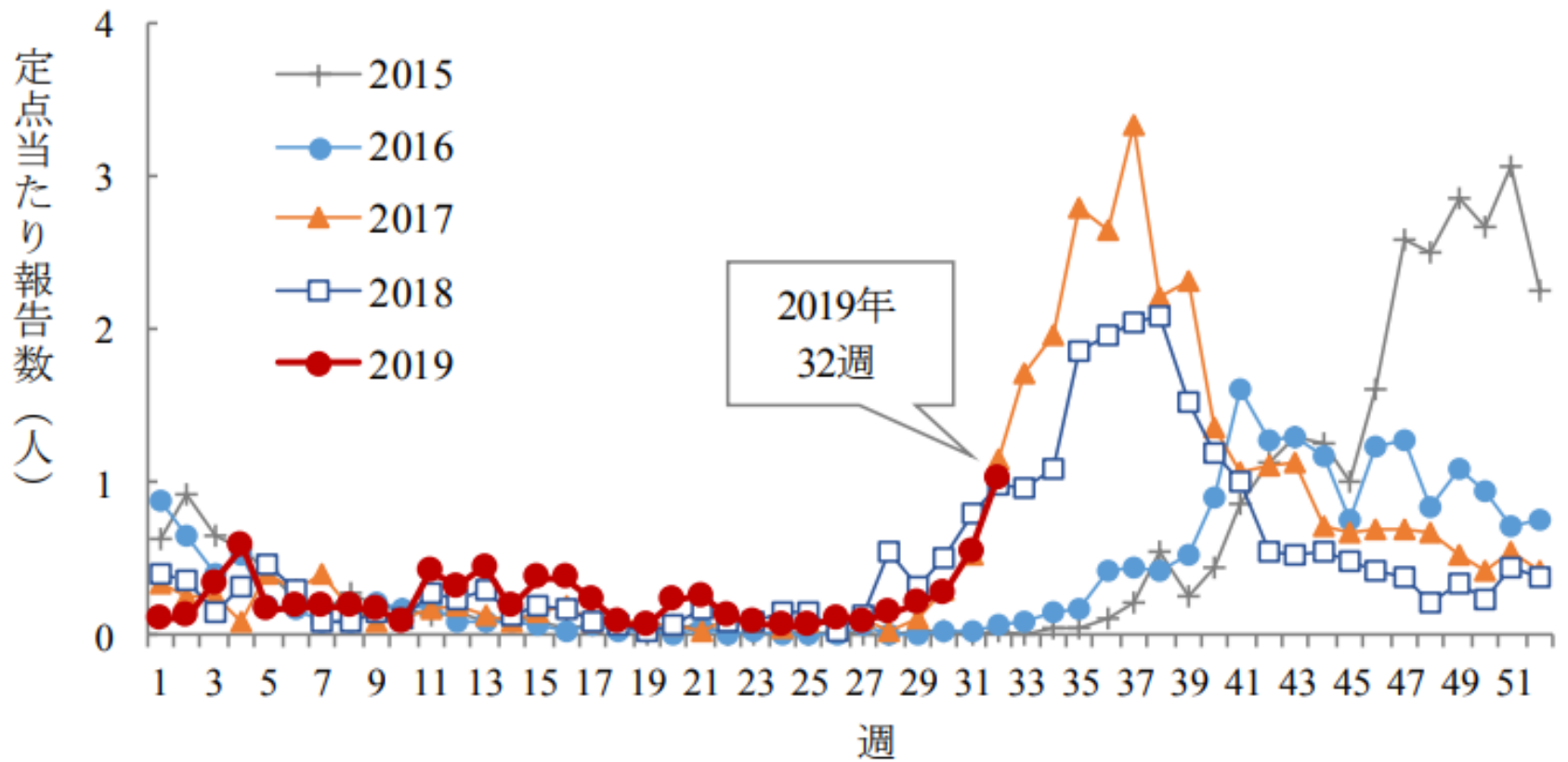
家庭用加湿器

- ・ 毎日、水の交換、タンクの清掃を行う。

RSウイルス感染症

分類	五類感染症
感染経路	飛沫感染、接触感染
潜伏期間	2～8日
症状	発熱、咳、鼻汁
その他	2歳までにほぼ 100% の人が感染を受け、生涯にわたり再感染を起こす。 慢性呼吸器疾患等の基礎疾患をもつ高齢者は肺炎等の重症化リスクが高い。 成人における発生動向は未把握。

週別患者報告数（岐阜県53定点）



感染予防策

接触感染対策

- ・ 流水・石鹸による手洗い、アルコール消毒

飛沫感染対策

- ・ マスクの着用
- ・ 咳エチケット